

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院実績報告書

病院名：名古屋大学医学部附属病院

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院設置要綱に基づき、下記のとおり報告します。(2020年5月1日現在)

1. 病院の機能及び医師等の配置

項目	該当
一般社団法人日本アレルギー学会の認定教育施設であること	○
内科、小児科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科領域の診療科が全て設置され、その医師が常勤していること、または、愛知県における小児アレルギー疾患医療の中心的な役割を担っていること	○
アレルギー疾患に関する専門的な知識と技能を有する薬剤師、看護師、管理栄養士等が配置されていること	○
〔配置状況〕	

医師の配置	アレルギー学会会員数	うち専門医数	うち指導医数
内科	11	7	3
小児科	0	0	0
皮膚科	2	1	1
眼科	0	0	0
耳鼻いんこう科	1	0	0

2. アレルギー疾患に関する「情報提供」「人材育成」「学校、児童福祉施設等におけるアレルギー疾患対応への助言、指導」の取組

	実績 (平成31年度)			今後の予定 (令和2年度)			
	診療科	対象者	内容	診療科	対象者	内容	
情報提供	講演会等	呼吸器内科・耳鼻科	医師	Eosinophilic Disease Conferenceにて上気道・下気道の好酸球性炎症についての講演を行った。	耳鼻科	医師	鶴舞耳鼻科会にてアレルギー性鼻炎に関する講演を予定する。
		呼吸器内科・耳鼻科	医師	オマリズマブ講演会にて、気管支喘息・アレルギー性鼻炎に対する治療についての情報提供を行った。			
		耳鼻科	医師	生体防御研究会を開催、花粉飛散状況や気道アレルギーに関する情報を提供した。			
		呼吸器内科	一般市民	アレルギー週間関連講演会「アレルギー性疾患の予防と治療の最前線」 新型コロナウイルス感染症の拡大にて中止	呼吸器内科	一般市民	アレルギー週間の行事として市民にアレルギーの啓発運動として講演会を開催する。
		呼吸器内科	一般市民	名古屋市ぜん息講演会「おとなの喘息 息の長い付き合い方のひけつ」(71名)			
		呼吸器内科	患者	名古屋市成人喘息教室「肺機能に関すること」(15名)	呼吸器内科	患者	喘息やCOPDの患者に肺機能検査について説明する。
		呼吸器内科	患者	知多市・知多保健所 呼吸ラクラク教室「気管支ぜん息と日頃の上手な付き合い方」(9名)	呼吸器内科	患者	喘息やCOPDの患者に病態や治療法、肺機能検査について説明する。
	他	耳鼻科	一般市民	愛知県地方部会として、耳鼻咽喉科医会とともに副鼻腔炎に関するリーフレットを作成し、情報を提供した。			
呼吸器内科・薬剤部		気管支喘息患者・ACO患者	吸入指導、PEF指導、アクションプラン説明などの喘息教室	呼吸器内科・薬剤部	気管支喘息患者・ACO患者	吸入指導、PEF指導、アクションプラン説明などの喘息教室	
人材	研修会	アレルギー疾患治療	病院教職員	第1回アレルギー研修会:アトピー性皮膚炎と皮膚トラブル(皮膚科)	年2回、テーマを変え開催予定		

育成	療チーム					
	アレルギー疾患治療チーム	病院教職員	第2回アレルギー研修会：薬剤アレルギーとアナフィラキシー（皮膚科、救急科）	年2回、テーマを変え開催予定		
	呼吸器内科	名城大学・金城学院大学薬学部学生	外来での喘息診療見学実習（2人～4人/回で60人）	呼吸器内科	名城大学・金城学院大学薬学部学生	外来での喘息診療見学実習（2人～4人/回で60人）
	呼吸器内科	呼吸器内科専攻医	名古屋呼吸器領域卒後専門教育セミナー（喘息・アレルギー領域）	呼吸器内科	呼吸器内科専攻医	名古屋呼吸器領域卒後専門教育セミナー（喘息・アレルギー領域）
	呼吸器内科	研修医	研修医のための呼吸器セミナー（喘息・COPD）	呼吸器内科	研修医	研修医のための呼吸器セミナー（喘息・COPD）
	他					
助言指導	耳鼻科	名古屋市愛知県	好酸球性副鼻腔炎について指定難病の審査を行った。	耳鼻科	名古屋市愛知県	引き続き好酸球性副鼻腔炎について指定難病の審査を行う予定である。
	呼吸器内科	県	愛知県公害認定審査会の委員	呼吸器内科	県	愛知県公害認定審査会の委員

3. アレルギー疾患における「診療」「研究」の取組

	実績（平成31年度）	今後の予定（令和2年度）
診療	<ul style="list-style-type: none"> アレルギー性鼻炎、慢性副鼻腔炎の保存的治療とともに、難治例には内視鏡下鼻副鼻腔手術を施行した。 アトピー性皮膚炎診療（200人） 気管支喘息、ABPA、ACO患者診療（約400人） 重症喘息患者診療（誘発喀痰による気道炎症評価など多面的な評価を行っている） 	継続
研究	<p>【国内学会】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前田 佳史、長谷川 義大、谷口 和弘、松島 充代子、川部 勤、式田 光宏 経気管支的に呼吸および光学画像計測を可能とするカテーテルセンサシステムに関する研究 第36回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム 2019 野間 颯斗、長谷川 義大、谷口 和弘、松島 充代子、川部 勤、式田 光宏 実験動物における気道内流量計測を目的としたステント型流量センサの開発 第36回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム 2019 吉田 誉、長谷川 義大、谷口 和弘、式田 光宏、松島 充代子、川部 勤 MEMS技術を用いた動物用人工呼吸器計測評価システムの開発 生体医工学シンポジウム 2019 LEE SEUNGHYEON、長谷川 義大、谷口 和弘、式田 光宏、松島 充代子、川部 勤 呼吸にもとづいた生体情報計測技術の開発 生体医工学シンポジウム 2019 	

・坪崎由夏、松島充代子、林 祐希、竹腰正広、田中杏佳、井上剛希、岩城 巧、山下哲平、上山 純、川部 勤. アセタミプリドが気道系の免疫応答に及ぼす影響についての評価. 第 50 回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会 2019

【国際学会】

・ Noma H, Hasegawa Y, Taniguchi K, Matsushima M, Kawabe T, Shikida M. Development of stent flow sensor device evaluating breathing property at airway in experimental animal under free move condition. Tech. Dig. of IEEE Micro Electro Mechanical Systems Conference 2020

・ Yoshida H, Hasegawa Y, Taniguchi K, Matsushima M, Kawabe T, Shikida M. Development of Breathing Monitoring System for Artificial Ventilator in Animal Experiment. 32nd International Microprocesses and Nanotechnology Conference (MNC2019) 2019

・ Inoue G, Matsushima M, Takashima K, Tanaka K, Takekoshi M, Tsubosaki Y, Iwaki K, Hayashi Y, Yamashita T, Kawabe T. Lung inflammation is attenuated by intratracheal administration of quercetin. IUIS2019

・ Iwaki K, Matsushima M, Kawabe M, Mizutani M, Tsubosaki Y, Takekoshi M, Tanaka K, Inoue G, Hayashi Y, Yamashita T, Kawabe T. Modification of allergic inflammation in murine model of allergic conjunctivitis without CD40 signal. IUIS2019

・ Noma H, Hasegawa Y, Taniguchi K, Matsushima M, Kawabe T, Shikida M. Flow sensor and stent integration for evaluating in-situ breathing property at airway in experimental animal. Tech. Dig. of 45th International Conference on Micro & Nano Engineering (MNE2019)

・ Maeda Y, Okihara C, Hasegawa Y, Taniguchi K, Matsushima M, Kawabe T, Shikida M. Micro-machined catheter flow sensor systemization for in-situ breathing and optical imaging measurements in bronchus region in lung system. Tech. Dig. of 45th International Conference on Micro & Nano Engineering (MNE2019)

・ Takekoshi M, Matsushima M, Yamashita T, Inoue G, Iwaki K, Hayashi Y, Tanaka K, Tsubosaki Y, Kawabe T. The role of innate immunity on type 2 immune response in bronchial asthma. 28th Congress of Interasthma Japan North Asia 2019.

【英文雑誌】

・ Homozygous variant p.Ser427Pro in PNPLA1 is a preventive factor from atopic dermatitis. Watanabe N, Kono M, Suganuma M, Tanahashi K, Akiyama M. J Dermatol Sci. 2020 Jan;97(1):86-88.

・ T Nishio, K Wakahara, Y Suzuki, et al. Mixed cell type in airway inflammation is the dominant phenotype in asthma patients with severe chronic rhinosinusitis. Allergol Int, 68 (4), 515-520

4. アレルギー疾患に関する特記事項（独自の取り組み）

--

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院実績報告書

病院名： 名古屋市立大学病院

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院設置要綱に基づき、下記のとおり報告します。(2020年5月1日現在)

1. 病院の機能及び医師等の配置

項目	該当
一般社団法人日本アレルギー学会の認定教育施設であること	○
内科、小児科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科領域の診療科が全て設置され、その医師が常勤していること、または、愛知県における小児アレルギー疾患医療の中心的な役割を担っていること	○
アレルギー疾患に関する専門的な知識と技能を有する薬剤師、看護師、管理栄養士等が配置されていること	○
〔配置状況〕吸入薬指導に習熟した、吸入療法マイスター（当院が認定）の資格を有する複数の薬剤師	

医師の配置	アレルギー学会会員数	うち専門医数	うち指導医数
内科	16	5	2
小児科	1	1	1
皮膚科	5	0	0
眼科	0	0	0
耳鼻いんこう科	2	2	1

2. アレルギー疾患に関する「情報提供」「人材育成」「学校、児童福祉施設等におけるアレルギー疾患対応への助言、指導」の取組

	実績（平成31年度）			今後の予定（令和2年度）			
	診療科	対象者	内容	診療科	対象者	内容	
情報提供	講演会等	内科	開業医	喘息を含むアレルギー疾患へのプライマリケア	内科	開業医 専門医 開業医及び、専門医	喘息・慢性咳嗽を含むアレルギー疾患へのプライマリケア 喘息・COPDの最新治療 呼吸器・耳鼻咽喉科アレルギーフォーラム
		小児科	教職員	食物アレルギーについて	小児科	教職員	食物アレルギーについて
	他	耳鼻科	医師、薬剤師	第46回東海花粉症研究会主催	耳鼻科	医師・薬剤師	第47回東海花粉症研究会主催
皮膚科		一般住民	名古屋市立大学 社会人の学びなおし対応教育推進プログラム 医療・保健 学びなおし講座「日常診療にみる皮膚アレルギー」 (年1回、30名)				
人材育成	研修会等	内科	薬剤師	吸入療法に関する実技・実践を含む講演会	内科	薬剤師	吸入療法に関する実技・実践を含む講演会
		小児科	看護師、薬剤師、栄養士など	食物アレルギー児の管理、アトピー性皮膚炎の管理について	小児科	看護師、薬剤師、栄養士など	食物アレルギー児の管理、アトピー性皮膚炎の管理について
	他						
助言指導	内科	患者	公害認定患者の転地療養付き添い・助言	内科	患者	公害認定患者の転地療養付き添い・助言	
	内科	行政	公害認定患者の認定・認定更新指導	内科	行政	公害認定患者の認定・認定更新指導	

3. アレルギー疾患における「診療」「研究」の取組

	実績（平成31年度）	今後の予定（令和2年度）
診療	上・下気道アレルギー疾患の包括的診療（内科、耳鼻科） 病診連携の強化による地域の小児アレルギー診療体制の構築（小児科） アトピー性皮膚炎の治験参加、導入（皮膚科）	重症難治性喘息及び難治性慢性咳嗽の最新治療（内科） 上・下気道アレルギー疾患の包括的診療（内科、耳鼻科） 病診連携の強化による地域の小児アレルギー診療体制の構築（小児科） アトピー性皮膚炎の治験参加・導入（皮膚科）
研究	喘息合併慢性副鼻腔炎の病態と治療（内科、耳鼻科） モデルマウスを用いたアレルギー疾患発症の機序の解明（小児科）	重症難治性喘息及び難治性慢性咳嗽の病態・フェノタイプ研究（内科） 喘息合併慢性副鼻腔炎の病態と治療（内科、耳鼻科） モデルマウスを用いたアレルギー疾患発症の機序の解明（小児科）

4. アレルギー疾患に関する特記事項（独自の取り組み）

重症難治性喘息に対する包括的評価と治療（他院では行いにくい誘発喀痰検査、咳受容体感受性試験などを駆使：内科） 難治性慢性咳嗽の鑑別診断と最新治療（上記などの検査や、国際臨床治験参加を含めた治療：内科）

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院実績報告書

病院名： 愛知医科大学病院

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院設置要綱に基づき、下記のとおり報告します。(令和2(2020)年5月1日現在)

1. 病院の機能及び医師等の配置

項目	該当
一般社団法人日本アレルギー学会の認定教育施設であること	有
内科、小児科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科領域の診療科が全て設置され、その医師が常勤していること、または、愛知県における小児アレルギー疾患医療の中心的な役割を担っていること	有
アレルギー疾患に関する専門的な知識と技能を有する薬剤師、看護師、管理栄養士等が配置されていること	有
〔配置状況〕	

医師の配置	アレルギー学会会員数	うち専門医数	うち指導医数
内科	10	1	2
小児科	7 (2)	5 (2)	1
皮膚科	3	0	0
眼科	0	0	0
耳鼻いんこう科	0	0	0

うち () は非常勤数

2. アレルギー疾患に関する「情報提供」「人材育成」「学校、児童福祉施設等におけるアレルギー疾患対応への助言、指導」の取組

	実績 (平成 31 年度)			今後の予定 (令和 2 年度)			
	診療科	対象者	内容	診療科	対象者	内容	
情報提供	講演会等	内科	市民	愛知県アレルギー講演会 (12/7 西尾市) 講師 (伊藤理)	内科	市民	愛知県アレルギー講演会 11/28 講師 (伊藤理)
		小児科	市民	喘息講話 (6/4 名古屋市) 講師 (武藤太一朗)	小児科	市民	喘息講話 (6/15 名古屋市) 講師 (武藤太一朗)
			市民	喘息講話 (12/13 名古屋市) 講師 (武藤太一朗)	小児科	市民	喘息講話 (12/11 名古屋市) 講師 (武藤太一朗)
			市民	アレルギー大学講座 喘息・鼻炎・結膜炎 (7/7) (武藤太一朗)	小児科	市民	アレルギー大学講座 喘息・鼻炎・結膜炎 (7/5) (武藤太一朗)
			教員等	愛知県アレルギー研修会 (2/17 名古屋市) 「学校給食の課題について」 (150名) (縣 裕篤)	小児科	市民	愛知県アレルギー講演会 (10/4) (縣 裕篤)
			栄養士等	アレルギー大学「最新医療・免疫療法」 (10/26 刈谷市) (4回で1講座 100名) (縣 裕篤)	小児科	栄養士	アレルギー大学「最新医療・免疫療法」 (4回で1講座 100名) (縣 裕篤)
			市民	愛知県アレルギー講演会 (12/7 西尾市) 「小児アレルギー疾患の最新治療」 (150名) (縣 裕篤)			
		栄養教諭	平成 31 年度第 3 回愛知県特別支援学校給食研究会 (12/24 豊明市) 「学校給食における食物アレルギーの対応」 (34名) (縣 裕篤)				
		皮膚科	院内の医師・看護師・学生、近隣病診連携医師	長久手皮膚科セミナー R1.11.20.『アクネ菌病因論から考えるサルコイドーシス』 R1.7.13.『開業医が対峙する既存治療抵抗性の難治性乾癬皮疹』	皮膚科	市民	愛知県アレルギー講演会 11/28 講師 (竹尾友宏)
			近隣病診連携医師	R1.10.26 『アトピー性皮膚炎外来での難治症例に対する治療戦略』			
市民	愛知県アレルギー講演会 (8/24 豊田市) 講師 (竹尾友宏)						

	他						
人材育成	研修会等	内科	アレルギー学会会員	日本アレルギー学会：第6回総合アレルギー講習会「イブニングシンポジウム喘息・重症喘息の治療戦略」講演（12/14 伊藤理）			
		内科	東名古屋医師会医師	東名古屋医師会懇話会「喘息と COPD のオーバーラップの病態と治療」（2020/1/18 伊藤理）			
		小児科	保育士	アナフィラキシー・エピペン講習会（5/24 瀬戸市 武藤太一朗）	小児科	瀬戸市保育士	アナフィラキシー・エピペン講習会（6/30 武藤太一朗）
		小児科	保育士	アナフィラキシー・エピペン講習会（6/4 瀬戸市 武藤太一朗）			
	他						
助言指導							

3. アレルギー疾患における「診療」「研究」の取組

	実績（平成31年度）	今後の予定（令和2年度）
診療	<p>内科：喘息、好酸球性肺炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)、アレルギー性気管支肺真菌症などの診療、治療。</p> <p>小児科：小児気管支喘息，アトピー性皮膚炎，食物アレルギー，アレルギー性鼻炎・結膜炎，慢性蕁麻疹など小児における全てのアレルギー疾患に対する適切な診断と治療。</p> <p>皮膚科：アトピー性皮膚炎、蕁麻疹などのアレルギー性皮膚疾患の診療、治療。</p>	<p>内科：現在の活動を継続する。</p> <p>小児科：左記に同じ</p> <p>皮膚科：左記に同じ</p>
研究	<p>内科：気管支喘息の臨床研究</p> <p>小児科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児気管支喘息における生物学的製剤の臨床的有効性の検討。 ・軟治性アトピー性皮膚炎の背景因子の検討と治療法の確立。 ・食物アレルギーにおける免疫療法の検討。 ・川崎病における免疫グロブリン不応マーカーの検討 <p>皮膚科：アトピー性皮膚炎の臨床研究 アトピー性皮膚炎の新規治療薬の臨床治験参加</p>	<p>内科：現在の活動を継続する。</p> <p>小児科：左記に同じ</p> <p>皮膚科：左記に同じ</p>

4. アレルギー疾患に関する特記事項（独自の取り組み）

（ とくになし ）

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院実績報告書

病院名： 藤田医科大学病院

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院設置要綱に基づき、下記のとおり報告します。(令和2年5月1日現在)

1. 病院の機能及び医師等の配置

項目	該当
一般社団法人日本アレルギー学会の認定教育施設であること	○
内科、小児科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科領域の診療科が全て設置され、その医師が常勤していること、または、愛知県における小児アレルギー疾患医療の中心的な役割を担っていること	○
アレルギー疾患に関する専門的な知識と技能を有する薬剤師、看護師、管理栄養士等が配置されていること	○
〔配置状況〕	

医師の配置	アレルギー学会会員数	うち専門医数	うち指導医数
内科	15	6	3
小児科	7	3	0
皮膚科	3	2	1
眼科	0	0	0
耳鼻いんこう科	4	2	1

2. アレルギー疾患に関する「情報提供」「人材育成」「学校、児童福祉施設等におけるアレルギー疾患対応への助言、指導」の取組

	実績 (平成 31 年度)			今後の予定 (令和 2 年度)			
	診療科	対象者	内容	診療科	対象者	内容	
情報提供	講演会等	皮膚科	一般市民	愛知県健康教育講座「皮膚疾患最新の治療」 西尾市民病院市民公開講座「身近な皮膚疾患」 岡崎市医師会健康教育講座「皮膚疾患最新の治療」			
		小児科	一般市民	名古屋市ぜん息おやこ教室講演 (年 2 回 20 名)	小児科	一般市民	名古屋市ぜん息おやこ教室講演 (年 2 回 20 名)
		内科	医師、看護師、薬剤師、学生	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症フォーラム (45 名) 間質性肺炎セミナー～地域連携勉強会～	内科	医師、看護師、薬剤師、学生	間質性肺炎セミナー～地域連携勉強会～
		耳鼻咽喉科	医師、薬剤師、気象予報士など	東海花粉症花粉症研究会 (1 回/年、30 名程度) スギ・ヒノキ科花粉飛散情報の提供	耳鼻咽喉科	医師、薬剤師、気象予報士など	東海花粉症花粉症研究会 (1 回/年、30 名程度) スギ・ヒノキ科花粉飛散情報の提供
		耳鼻咽喉科	近隣開業医	病診連携の会 (2 回/年、30 名程度) アレルギー免疫療法についての情報提供	耳鼻咽喉科	近隣開業医	病診連携の会 (2 回/年、30 名程度) アレルギー免疫療法についての情報提供
	他	内科	一般住民	愛知県アレルギー研修会(気管支サーモプラスティ 臨床の実際)			
		内科	一般住民	ホームページ上で当施設でのアレルギーに関する情報提供を行っている (倫理委員会承認のもの)	内科	一般住民	ホームページ上で当施設でのアレルギーに関する情報提供を行っており、これを継続していく予定である
人材育成	研修会等	内科	医師、看護師、薬剤師、学生	とよあけ吸入指導セミナー (53 名)	内科	医師、看護師、薬剤師、学生	2020 年 7 月 15 日予定
		内科	医師	アレルギーに興味のある医師を対象に月に 1 回程度で勉強会を行っている	内科	医師	アレルギーに興味のある医師を対象に月に 1 回程度で勉強会を行っており継続していく。
		内科	医師、看護師、学生	呼吸器・アレルギー～診断から治療まで～	内科	医師、看護師、薬剤師、学生	呼吸器・アレルギー 診断から治療まで～地域連携勉強会～
		内科	医師、看護師、薬剤師、学生	IPF Academy in TOYOAKE 間質性肺炎セミナー～地域連携勉強会～ (25 名)	内科	医師、看護師、薬剤師、学生	毎年行っており 2020 年も行う予定である

	皮膚科	医師・看護師	藤田医科大学眼科新人歓迎会講演「アトピー性皮膚炎の治療～スキンケアから抗体医薬品まで～」			
	皮膚科	医師	日本アレルギー学会 第6回総合アレルギー講習会			
	皮膚科	看護師	第2回西三河皮膚疾患看護勉強会			
	皮膚科	教育関係者	愛知県アレルギー研修会			
	小児科	教員	エビペン講習会（年12回 計380名）	小児科	教員	エビペン講習会（年10回 計350名）
	眼科	看護師	アトピー性皮膚炎ベースの網膜剥離術後患者に対するシーネ指導(不定期、年数回)			
助言 指導	小児科	一般市民	緑区保健センターでのアレルギー相談（年6回）	小児科	一般市民	緑区保健センターでのアレルギー相談（年6回）
	内科	名古屋市 愛知県	名古屋市公害認定審査会の委員 愛知県公害認定審査会の委員	内科	名古屋市 愛知県	名古屋市公害認定審査会の委員 愛知県公害認定審査会の委員
	耳鼻咽喉科	気象予報士	日本気象協会へのスギ・ヒノキ科花粉飛散数の提供、花粉飛散数予測についての助言	耳鼻咽喉科	気象予報士	日本気象協会へのスギ・ヒノキ科花粉飛散数の提供、花粉飛散数予測についての助言

3. アレルギー疾患における「診療」「研究」の取組

	実績（平成31年度）	今後の予定（令和2年度）
診療	<ul style="list-style-type: none"> ・気管支喘息の重責発作の症例においても救急外来を經由し集中治療室にて入院加療を行い、重篤な場合でも迅速に対応している。 ・重症喘息患者症で気管支サーモプラスティや生物学的注射製剤を使用する場合はカンファレンスを行い適切な治療法を検討している。 ・間質性肺炎（びまん性肺疾患）では可能な限り、病態についてカンファレンスを行い、今後の方針、治療法などに関し検討している。 ・他科との関連性が考えられる疾病については相談しながら診療を行っている。（内科） ・食物アレルギー児を早期に寛解に導くべく当グループで作成している「加工食品のアレルゲン含有量早見表」を用いた食事指導を進めている。（小児科） ・アトピー性皮膚炎がベースにある重症の緑内障患者や視神経炎患者を皮膚科と連携して診療を行なった。（眼科） ・アレルギー外来にてアレルゲン免疫療法や重症アレルギー性鼻炎患者のコントロール（毎週土曜日）（耳鼻咽喉科） 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も病態に応じて皮膚科、耳鼻科などと相談しながら診療をおこなっていく。 ・間質性肺炎（びまん性肺疾患）においてデータを蓄積し解析を行っていく。 ・今後も他科との関連性が考えられる場合はより積極的に相談し治療をおこなっていく（内科） ・当研究室で培養細胞を用いたアレルギー検査である EXiLE 法が可能となり、食物アレルギーの診断や解析に使用して患者の診療に役立つ。（小児科） ・今後も継続で診療を行う予定である。（眼科） ・アレルギー外来にてアレルゲン免疫療法や重症アレルギー性鼻炎患者のコントロール（毎週土曜日）（耳鼻咽喉科）
研究	<ul style="list-style-type: none"> ・間質性肺炎（びまん性肺疾患）の臨床背景、画像、病理学的検討 ・重症喘息で施行される気管支サーモプラスティにおける治療前後の呼吸機能の変化および喘息関連メディエーターの変動の検討 ・アスピリン喘息の病態解明について AMED(国立研究開発法人日本医療研究開発機構)で共同研究を行っている（内科） ・PACI ON study（多施設共同研、主研究施設：成育医療研究センター）（皮膚科） ・重症魚アレルギー患者に対する治療と、鶏卵アレルギー発症予防のための早期鶏卵摂取につ 	<ul style="list-style-type: none"> ・間質性肺炎（びまん性肺疾患）の臨床背景、病理学的検討を継続していく ・重症喘息で施行される気管支サーモプラスティに関して治療前後における喘息関連メディエーターの測定を行い、本治療の機序について研究を進める ・アスピリン喘息の病態解明について AMED での共同研究を進展させていく（内科） ・PACI ON study（多施設共同研、主研究施設：成育医療研究センター）（皮膚科） ・従来の魚の治療と鶏卵アレルギー発症予防の研究を継続する。食物アレルギー診療ガイドライン

<p>いての特定臨床研究を進めている。(小児科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スギ・ヒノキ科花粉症における咽喉頭症状、喉頭アレルギーと胃食道逆流症との関連について慢性型喉頭アレルギーの気道上皮の線維化の研究 (耳鼻咽喉科) <p>論文掲載</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Cellular Reprogramming(IF:1.430) ・ BMC Pulm Med. 2019 Nov 1;19(1)(IF:2.184) <p>演題発表；角膜カンファレンス 2019 京都. 2019.2.7.</p>	<p>2021 の執筆協力者として執筆に携わる。(小児科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スギ・ヒノキ科花粉症における咽喉頭症状 (耳鼻咽喉科) <p>・科学研究費助成事業での 単球由来 iPS 細胞の作出と応用に関する研究;難治性喘息の有効な治療のために という研究課題をさらに発展させ、今後の新しい喘息治療を探索していく予定である学会発表を通じて情報発信と、アレルギー疾患に対する理解をさらに深めてゆく。</p>
--	--

4. アレルギー疾患に関する特記事項 (独自の取り組み)

<ul style="list-style-type: none"> ・すべての科で軽症から集中治療質管理が必要な症例を 24 時間体制で受け入れており、これを継続することで民の生活の質の向上を図っていききたい ・内科系、外科系、放射線科、病理診断科、基礎医学系との定期的なカンファレンスを行っており、診療科を横断してアレルギー・免疫に関しての知見を病院全体で深化させ、積極的な情報提供を行い県民の生活の質の向上を図っていききたい ・地域の病院や他の拠点病院と連携しつつ、県内全域の医師や医療従事者に対しての人材育成を引き続き行っていく ・基礎医学系との共同研究も充実しており引き続き継続し、単球由来 iPS 細胞を用いた新しいアレルギー・免疫治療を探索していく ・気管支喘息やアレルギー性鼻炎などの典型的なアレルギー疾患から、難治性疾患である間質性肺炎も得意としており診療科を横断して最新の知見を病院全体で深化させ、積極的な情報提供を行い県民の生活の質の向上を図っていききたい
--

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院実績報告書

病院名：藤田医科大学ばんだね病院

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院設置要綱に基づき、下記のとおり報告します。(2020年5月1日現在)

1. 病院の機能及び医師等の配置

項目	該当
一般社団法人日本アレルギー学会の認定教育施設であること	○
内科、小児科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科領域の診療科が全て設置され、その医師が常勤していること、または、愛知県における小児アレルギー疾患医療の中心的な役割を担っていること	○
アレルギー疾患に関する専門的な知識と技能を有する薬剤師、看護師、管理栄養士等が配置されていること	○
〔配置状況〕 小児アレルギーエデュケーター 3名	

医師の配置	アレルギー学会会員数	うち専門医数	うち指導医数
内科	16	4	2
小児科	9	3	1
皮膚科	1	1	0
眼科	1	0	0
耳鼻いんこう科	2	0	0
総合アレルギー科	4	4	4

2. アレルギー疾患に関する「情報提供」「人材育成」「学校、児童福祉施設等におけるアレルギー疾患対応への助言、指導」の取組

	実績(平成31年度)			今後の予定(令和2年度)		
	診療科	対象者	内容	診療科	対象者	内容
情報提供	センター	一般市民、医療従事者、教育関係者	総合アレルギーセンターWebsiteにメールによる相談窓口を設置 【平成31年度アレルギー疾患対策都道府県拠点病院モデル事業】	センター	一般市民、医療従事者、教育関係者	・当センターWebsite「相談窓口」の周知活動 (http://www.fujita-hu.ac.jp/general-allergy-center/information-station/consultation/) ・主な質問のQ&A集を作成し、Websiteにて広く公開する
	センター	一般市民	総合アレルギーセンターWebsiteに主なアレルギー疾患の症状、検査、治療、医療機関検索方法等の説明ページを開設 【平成31年度アレルギー疾患対策都道府県拠点病院モデル事業】	センター	一般市民	・当センターWebsite「アレルギー情報ステーション」内の主なアレルギー疾患の症状、検査、治療、医療機関検索方法等の説明ページの周知活動 (http://www.fujita-hu.ac.jp/general-allergy-center/information-station/) ・食物アレルギーの子どもの成長に必要な栄養、レシピ等の情報をまとめ、公開する
	センター	一般市民	藤田医科大学総合アレルギーセンター主催第2、3回アレルギーキッズセミナー「わくわくお仕事体験」	センター	一般市民	藤田医科大学総合アレルギーセンター主催 第4、5回アレルギーキッズセミナー「わくわくお仕事体験」(地域の人々が医療現場を体験する機会の提供)
	小児科	一般市民	名古屋市環境局主催 名古屋市喘息教室(キャンプ学童3回 幼児2回 プール教室2回 サッカー教室1回)	小児科	一般市民	名古屋市環境局主催 名古屋市喘息教室(キャンプ学童3回 幼児2回 プール教室2回 サッカー教室1回)
講演会等	センター	医療従事者	「愛知県のアレルギー診療を考える会~小児科領域の問題を語り合う~」 【平成31年度アレルギー疾患対策都道府県拠点病院モデル事業】	センター	医療従事者	「愛知県のアレルギー診療を考える会」喘息、アトピー性皮膚炎領域(合計2回) 【平成31年度アレルギー疾患対策都道府県拠点病院モデル事業】
	センター	医療従事者	日本ラテックスアレルギー研究会主催(3/17) 「ラテックスアレルギーセミナー」	センター	教育関係者/地域の医療従事者	藤田医科大学アレルギー勉強会 年4回開催、次回第68回(新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催時期未定)
	センター	医師	藤田医科大学ばんだね病院主催(9/28) 第19回病診連携学術講演会	センター	医師	藤田医科大学ばんだね病院主催 第20回病診連携学術講演会
	内科	一般市民	一般財団法人愛知県健康増進財団主催「健康診断・健康管理」担当者勉強会(2020/2/7)	小児科	教育関係者	愛知県教育委員会主催 令和2年度学校保健講座(8/4)

			「聞いて得するアレルギーの知識～愛知県におけるアレルギー診療の取り組みも含めて～」			
	眼科	医師はじめ 医療従事者	名古屋市学校医会 令和1年度第8回学校医会研修会 「眼のアレルギー：ステロイド治療の功罪」			
人材 育成	他	センター	医師 藤田医科大学総合アレルギーセンター トレーニングコース 開設 【平成31年度アレルギー疾患対策都道府県拠点病院モデル事業】	センター	医師	藤田医科大学総合アレルギーセンター主催 アレルギー専門医・非専門医向けトレーニングコース（研修）の稼働（周知活動、受講者受け入れ開始）
		センター	医療従事者 総合アレルギーセンターWebsiteの「アレルギー情報ステーション」にてアレルギー疾患の検査方法や看護師向けアレルギー研修等の動画を公開 【平成31年度アレルギー疾患対策都道府県拠点病院モデル事業】	センター	医療従事者	総合アレルギーセンターWebsiteの「アレルギー情報ステーション」内でエビベン講演会や拠点病院事業で行う講演会・研修会等の動画を公開
	研修会等	センター	医療従事者 藤田医科大学ばんだね病院主催第2回愛知アレルギー実践セミナー（9/29）	センター	医療従事者	藤田医科大学ばんだね病院主催 第3回愛知アレルギー実践セミナー（秋頃開催）
		内科	保健師等 平成31年度 療養指導保健師等業務研修会（4/16、12/17） 「喘息予防・管理ガイドライン2018の改正と地域連携」 「COPD 診断と治療のためのガイドライン 2018 の改正ポイントと効果的な保健指導」	総合アレルギー科	研修医	院内 初期研修医セミナーにおける講義
		小児科	教育関係者 エビベン講習会 48回	小児科	教育関係者	エビベン講習会（年48回予定）
		総合アレルギー科	研修医 院内 初期研修医セミナーにおける講義			
	助 言 指 導	内科	県 名古屋市公害認定審査会の委員	内科	県	名古屋市公害認定審査会の委員
内科		名古屋市役所 アレルギー相談会にて吸入指導	総合アレルギー科	行政	厚生労働省アレルギー疾患対策推進協議会委員	
小児科		アレルギー相談会で相談対応 （中川保健所：4カ月に1回 南保健所：月に1回 中村保健所：2カ月に1回）	小児科		アレルギー相談会で相談対応 （中川保健所：4カ月に1回 南保健所：月に1回 中村保健所：2カ月に1回）	
総合アレルギー科		行政 厚生労働省アレルギー疾患対策推進協議会委員				

3. アレルギー疾患における「診療」「研究」の取組

	実績（平成31年度）	今後の予定（令和2年度）
診療	<ul style="list-style-type: none"> ・難症例に対する6診療科医師による合同診療を開催（週1回） ・重症患者に対する免疫療法、負荷試験、生物学的製剤を用いた治療の実施 食物負荷試験：2,078件、皮膚テスト（プリックテスト394件、パッチテスト363件）（2019年度） 肺機能検査：1,332件、呼吸抵抗測定1,217件、呼気ガス試験569件（2019年度） アトピー性皮膚炎、蕁麻疹患者への生物学的製剤、スギ・ダニ花粉症患者への舌下免疫療法 アレルギー性鼻炎における鼻汁好酸球特異的抗体検査、血清IgE値検査の測定（年回60例）	<ul style="list-style-type: none"> ・難症例に対する6診療科医師による合同診療を開催（週1回） ・重症患者に対する免疫療法、負荷試験、生物学的製剤を用いた治療の実施 肺機能検査、呼吸抵抗測定、呼気ガス試験 アトピー性皮膚炎、蕁麻疹患者への生物学的製剤、スギ・ダニ花粉症患者への舌下免疫療法 アレルギー性鼻炎における鼻汁好酸球特異的抗体検査、血清IgE値検査の測定
研究	<ul style="list-style-type: none"> ・内科業績（英文3報） ・小児科業績（英文5報） ・総合アレルギー科業績（英文4報） 	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床研究「医療連携バスによるアレルギー診療の質・患者満足度向上に関する検討」の実施（倫理申請中）

4. アレルギー疾患に関する特記事項（独自の取り組み）

- ・愛知県における専門医を中心とした医療連携体制構築を目指した取り組み（講演会の開催、医療連携バスの臨床研究）
- ・メールでの相談窓口の代表的な質問をまとめた Q&A の作成
- ・患者同士が情報交換を行う場の提供（患者会の設立）
- ・患者会や相談窓口の相談内容等によりニーズを分析し、当センターWebsite での情報発信を行う

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院実績報告書

病院名：あいち小児保健医療総合センター

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院設置要綱に基づき、下記のとおり報告します。(2020年5月1日現在)

1. 病院の機能及び医師等の配置

項目	該当
一般社団法人日本アレルギー学会の認定教育施設であること	○
内科、小児科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科領域の診療科が全て設置され、その医師が常勤していること、または、愛知県における小児アレルギー疾患医療の中心的な役割を担っていること	○
アレルギー疾患に関する専門的な知識と技能を有する薬剤師、看護師、管理栄養士等が配置されていること	○
〔配置状況〕看護師 PAE 1 名、管理栄養士 PAE 6 名（連携する NPO 法人スタッフを含む）	

医師の配置	アレルギー学会会員数	うち専門医数	うち指導医数
内科	0		
小児科	11 人	5 人	1 人
皮膚科	0		
眼科	0		
耳鼻いんこう科	0		

2. アレルギー疾患に関する「情報提供」「人材育成」「学校、児童福祉施設等におけるアレルギー疾患対応への助言、指導」の取組

	実績（平成 31 年度）			今後の予定（令和 2 年度）			
	診療科	対象者	内容	診療科	対象者	内容	
情報提供	講演会等	アレ科	教職員等	エピペン講習会 1 回	アレ科	教職員等	エピペン講習会 0 回（コロナ対応のため）
		アレ科	患者家族	アレルギー教室 3 回	アレ科	患者家族	アレルギー教室 3 回
	他	大学生	名古屋学芸大学、愛知教育大学の学生講義	アレ科	大学生	名古屋学芸大学、愛知教育大学の学生講義	
人材育成	研修会等	アレ科	PAE 受験生	日本小児臨床アレルギー学会 PAE 受験者施設研修 4 名	アレ科	PAE 受験生	日本小児臨床アレルギー学会 PAE 受験者施設研修 0 名（コロナ対応のため）
		アレ科	管理栄養士	認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク病院実習 5 名	アレ科	管理栄養士	認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク病院実習 0 名（コロナ対応のため）
	他	アレ科	小児科医	名古屋大学小児科医局フレッシュ研修受け入れ	アレ科	小児科医	名古屋大学小児科医局フレッシュ研修受け入れ
		アレ科	管理栄養学科学生	名古屋学芸大学管理栄養学部卒業研究 8 名指導、大学院生研究指導 1 名	アレ科	管理栄養学科学生	名古屋学芸大学管理栄養学部卒業研究 8 名指導
助言指導	アレ科	愛知県教育委員会	学校給食における食物アレルギー対応に関する検討委員会委員（年 2 回）	アレ科	愛知県教育委員会	学校給食における食物アレルギー対応に関する検討委員会委員（年 2 回）	
	アレ科	名古屋市	教育委員会：食物アレルギー対応連絡会 委員（年 2 回） 環境局：乳幼児アレルギー実態把握等懇談会 委員	アレ科	名古屋市	教育委員会：食物アレルギー対応連絡会 委員（年 2 回） 環境局：乳幼児アレルギー実態把握等懇談会 委員	

3. アレルギー疾患における「診療」「研究」の取組

	実績（平成 31 年度）	今後の予定（令和 2 年度）
診療	食物経口負荷試験（運動負荷試験含む）1317 件、急速経口免疫療法 19 件 緩徐微量経口免疫療法を中心とした食物アレルギーの治療が継続されている	食物経口負荷試験、急速経口免疫療法、吸入性抗原に対する舌下・皮下免疫療法を引き続き行う。薬剤アレルギーへの対応を強化する。
研究	厚労科研「経口負荷試験の標準化」研究分担者 愛知県医師会救急委員会のアナフィラキシー受診患者調査の報告書作成	牛乳アレルギーと診断され牛乳を完全除去している小児を対象とした 1-ケストースの継続的な摂取がアレルギー応答に与える影響について探索的に検討する非盲検試験（特定臨床研究） 即時型食物アレルギー反応に対する DHA/EPA 補充の抑制効果に関する研究（特定臨床研究） 厚労科研「経口負荷試験の標準化」研究分担者 AMED「重症気管支喘息患者の生物学的製剤の有効性を予測するバイオマーカーの探索」研究分担者

		<p>日本ハム食の未来財団「鶏卵、牛乳、小麦アレルギー児に対する 同時緩徐微量経口免疫療法の検討」</p> <p>重症即時型鶏卵アレルギー乳児に対する完全除去防止の効果に関するランダム化比較試験</p> <p>食物アレルギーの原因蛋白の同定</p> <p>食品に含まれるアレルゲンの変性、低アレルゲン化とアレルゲンコンポーネントに関する検討</p> <p>乳幼児喘息に対するフルチカゾン間欠吸入と連日吸入の増悪抑制効果に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較試験</p> <p>食物アレルギー即時型症状に対するステロイド薬の有効性の検討</p> <p>医薬品の外用療法では疾患のコントロールが十分でない、又は概要療法が医学的に推奨されない、中等庄から重症のアトピー性皮膚炎を有する小児患者における、前向き、観察的、縦断的研究(Pediatric Study in Atopic Dermatitis:PEDISTAD) (国際共同治験)</p> <p>プロテオミクス手法による各種アレルギー疾患の要因解析</p> <p>小児食物アレルギー児の QOL をその児本人が回答する疾患特異的尺度を開発する研究</p> <p>小児食物アレルギー児を持つ養育者の QOL を評価する疾患特異的尺度を開発する研究</p> <p>小児食物アレルギー児の QOL をその養育者が回答する疾患特異的尺度を開発する研究</p> <p>食物経口負荷試験の安全な実施とその結果に基づく食物アレルギーの診断に関する後方視的研究</p> <p>消費者庁「即時型アレルギーによる健康被害に関する全国実態調査」</p>
--	--	---

4. アレルギー疾患に関する特記事項（独自の取り組み）

認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワークと協働して、アレルギー大学の企画と講師・クリニックにおける出張栄養食事指導事業を行っている。その他県内外の関係団体からの講演要請に 50 件以上対応している。名古屋学芸大学管理栄養学部小児栄養学教室と患者教育、栄養と骨密度のテーマで学生教育を伴った共同研究を行っている。